預言者のシャマーイル

シリーズ 4

その笑いは ほほえみ

預言者ﷺのシャマーイル（ティルミズィー第 32〜40 章）：香り、話し方、笑い、冗談、詩、夜の語らい、ウンム・ザルウのハディース、眠り、崇拝



Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranDanSains
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売はできません。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَٰنِ الرَّحِيمِ

預言者のシャマーイル

シリーズ 4

その笑いはほほえみ

預言者ﷺのシャマーイル（ティルミズィー第 32〜40 章）：香り、話し方、笑い、冗談、詩、夜の語らい、ウンム・ザルウのハディース、眠り、崇拝

وَإِنَّكَ لَعَلَىٰ خُلُقٍ عَظِيمٍ

“本当にあなたは，崇高な徳性を備えている。.”

筆章 68:4

Hj Che Alim Hj Che Haron

quranscience.my | @QuranDanSains

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売はできません。

謝辞

ご自身の使徒を崇高な徳性で飾り、私たちにとって最良の模範とされたアッラーに、すべての称賛あれ。その笑いはほほえみであり、その夜は礼拝によって生かされていた、われらの主人である預言者ムハンマド ﷺ と、そのご家族、そしてそのほほえみ、言葉、祈りの一つ一つを守り伝えた教友たちの上に、祝福と平安あれ。

この電子書籍を、愛する妻

Zaharah Mohd Latif、

愛する子どもたち

Muhammad Hafiz, Noor Hazwani, Abdul Hakim, Noor Hidayah, Nor Aqila と **Nor Atiqah**、

そして義理の息子・娘たち

Fazilah, Malek, Hanin, Fairizal と **Firwan** に捧げます。

『預言者のシャマーイル』の第四巻である本書は、イマーム・ティルミズィーの『シャマーイル・ムハンマディーヤ』の章立てに従い、第 32 章から第 40 章までを扱う。すなわち、香り、話し方、笑い、冗談、詩、夜の語らい、ウンム・ザルウのハディース、眠り、そして崇拝である。各ハディースの判定を明記し、信頼できる伝承を通して彼の人柄と崇拝に倣うことができるよう努めた。

表紙について

本書の表紙には、人間も動物も描かれていない。描かれているのは、**夜明け前の質素な日干しれんがの部屋**である。開いた木の窓の向こうには、夜明けの最初の光に染まり始めた星空が見え、床には**編んだ礼拝用の敷物**、柔らかく灯る**素焼きの油ランプ**、そして木の棚の上には**小さな香油の瓶**が置かれている。

アッラーの使徒 ﷺ は香りをまとうための**スッカ**（香料の入れ物）を持っておられ（『シャマーイル』215）、香料を決して断られなかった。そしてその夜は、両足がはれるまでの礼拝によって生かされ、彼は言われた。**「私は感謝するしもべであってはならないのか。」**質素な部屋、礼拝用の敷物、ランプ、そして一瓶の香油は、崇拝によって香り高かった彼の夜を思い起こさせる。

下部の**紺色の帯**は**細い金の線**に縁取られ、そこに著者名が記されている。

目次

その笑いはほほえみ — はじめに

1. 崇高な徳性 — 筆章 68:4

2. 第 32 章：その香り — 『シャマーイル』215〜216

3. 「断ってはならない三つのもの」 — 『シャマーイル』217〜221

4. 第 33 章：その話し方 — 『シャマーイル』222〜224

5. 第 34 章：その笑い — 『シャマーイル』225〜227

6. 「私を見るといつもほほえまれた」 — 『シャマーイル』229〜230

7. 奥歯が見えるほどの笑い — 『シャマーイル』228、231、233

8. 赦しを求めるしもべを喜ばれるアッラー — 『シャマーイル』232

9. 第 35 章：その冗談 — 『シャマーイル』234、236

10. アブー・ウマイルと小鳥 — 『シャマーイル』235

11. 雌ラクダの子とザーヒル — 『シャマーイル』237〜239

12. 第 36 章：詩 — 『シャマーイル』240〜241、247

13. 戦場の詩句 — 『シャマーイル』242〜244

14. ハッサーン・イブン・サービトとイブン・ラワーハ — 『シャマーイル』245〜250

15. 第 37 章：夜の語らい — 『シャマーイル』251

16. 第 38 章：ウンム・ザルウのハディース — 『シャマーイル』252

17. 「私はあなたにとってアブー・ザルウのよう」 — 『シャマーイル』252

18. 第 39 章：その眠り — 『シャマーイル』253〜254

19. 眠る前と目覚めたときの祈り — 『シャマーイル』255、258

20. 眠る前の三つの「クル」 — 『シャマーイル』256

21. その横になり方 — 『シャマーイル』257、259

22. 第 40 章：その崇拝 — 『シャマーイル』260〜262

23. 夜の礼拝 — 『シャマーイル』263〜268

24. 美しく長い十一ラクア — 『シャマーイル』269〜273

25. 長い起立と一晩じゅう一つの節 — 『シャマーイル』274〜277

26. 座っての礼拝 — 『シャマーイル』278〜281

27. ラワーティブの任意の礼拝 — 『シャマーイル』282〜286

28. 教訓と結び — 表

29. 付録：毎日のスンナ・チェックリスト — 表

参考文献

支援と寄付

色の案内：緑の枠＝クルアーンの節、金色の枠＝ハディース、茶色の枠＝注（弱い伝承または補足説明）、青い表＝比較。青い下線付きの伝承者名をクリックすると、sunnah.com のその伝承者のページが開きます。

その笑いはほほえみ

これまでの三巻では、アッラーの使徒 ﷺ のお姿、衣服、そして食卓を知った。この第四巻は、私たちをさらに**彼の人柄**へと近づける。その香り、話し方、笑い方と冗談、詩への態度、夜に語られた話、眠り、そして崇拝である。本書はイマーム・ティルミズィーの『**シャマーイル・ムハンマディーヤ**』第 32 章から第 40 章に従う。

これらの章には **66 の伝承**が含まれている。彼の崇拝についての第 40 章だけで 25 の伝承がある。第 38 章にはハディースが一つしかないが、それはこの書物の中でも最も長いものの一つで、夫について語り合った**十一人の女性**の物語である。これまでと同様に、サヒーフとハサンの伝承はハディースの枠で紹介し、弱い伝承は注の枠で説明する。

そこに浮かび上がる姿は、とても美しい。**その笑いはほほえみ**であり、冗談を言っても決して偽らず、幼い子どもに小鳥のことを尋ね、両足がはれるまで夜の礼拝に立ち、そしてこう言われた預言者である。「**私は感謝するしもべであってはならないのか。**」

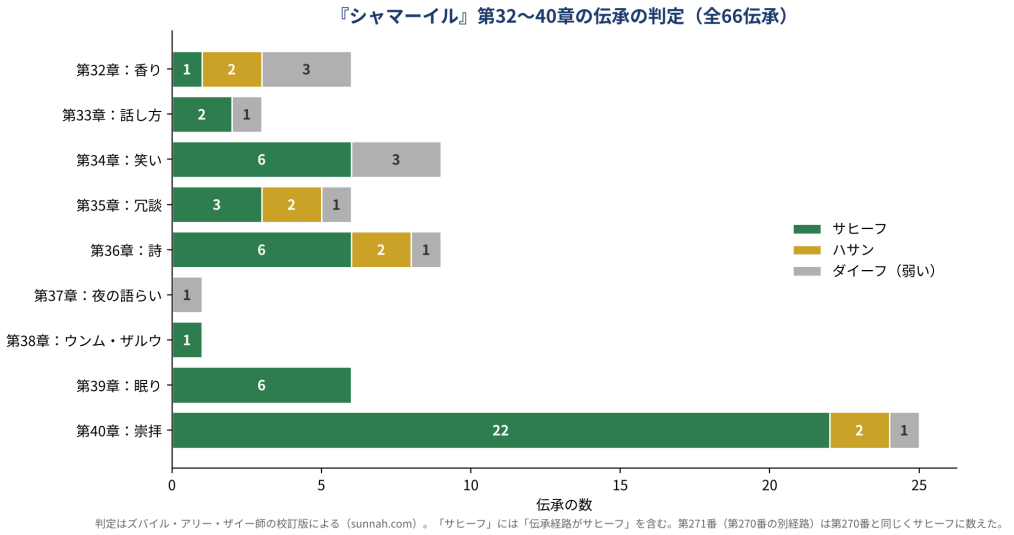


図 1：『シャマーイル』第 32〜40 章の伝承の判定。

注：本書のクルアーンの日本語訳は三田了一訳『日亜対訳 聖クルアーン』による。各ハディースの判定は、sunnah.com に示されたズバイル・アリー・ザイー師の校訂版に基づき、それぞれの枠に記した。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

これらの章の 66 の伝承のうち、五分の四以上がサヒーフまたはハサンである。ハディースと本文の日本語訳は著者側で作成したものであり、表現の誤りにお気づきの方はご指摘いただければ幸いである。

本書を読み進めるときは、どうか一つ一つの伝承を、遠い昔の物語としてではなく、今日の私たちの暮らしへの招きとして受け取ってほしい。香りをまとうこと、ほほえむこと、正直な冗談、家族との語らい、眠る前の祈り、そして夜の二ラクア。どれも今夜から始められるスンナである。

崇高な徳性

彼のほほえみ、言葉、そして崇拝を知る前に、アッラーご自身がご自分の使徒をどのようにほめておられるかを聞いてみよう。

筆章 68:4

وَإِنَّكَ لَعَلَىٰ خُلُقٍ عَظِيمٍ ﴿٤﴾

本当にあなたは，崇高な徳性を備えている。

日本語訳：三田了一 — quran.com/68:4

このほめ言葉は人間からではなく、アッラーから来ている。イブン・カスィールは、アーイシャがアッラーの使徒 ﷺ の人柄について尋ねられたとき、「**彼の人柄はクルアーンでした**」と答えたことを伝えている。彼はその命令を実践し、その禁止を避け、クルアーンが彼の中に生きているかのようであった（タフスィール・イブン・カスィール 68:4）。

本書の各章は、その人柄を日々の小さなことの中に示してくれる。彼は**香料の贈り物を断らず**、ゆっくりはっきりと話し、教友たちをほほえみで迎え、子どもや貧しい人と冗談を交わし、良い詩を評価し、妻の話を注意深く聞き、そしてアッラーを念じながら眠り、目覚められた。

この崇高な人柄は、**崇拝**に根ざしている。昼の彼のほほえみは、夜の彼のサジダ（平伏）と切り離されたものではなかった。だからこそ、本書の最後の章である崇拝の章は、それまでの章を理解する鍵なのである。アッラーに近い心は、人々に優しさを放つ。

第 32 章：その香り

『シャマーイル』の第 32 章は「**アッラーの使徒 ﷺ の香りについて伝えられたこと**」と題されている。六つの伝承があり、サヒーフが一つ、ハサンが二つ、弱いものが三つである（図 1）。アナス رضي الله عنه は言った。「**アッラーの使徒 ﷺ はスッカ（香料の入れ物）を持っておられ、それで香りをまとわれた**」（『シャマーイル』215）— 伝承経路はハサン。『スナン・アビー・ダーウード』4162 にもある。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 216 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّحْمَنِ بْنُ مَهْدِيٍّ، قَالَ: حَدَّثَنَا عَزْرَةُ بْنُ ثَابِتٍ، عَنْ ثُمَامَةَ بْنِ عَبْدِ اللهِ، قَالَ: كَانَ أَنَسُ بْنُ مَالِكٍ، لا يَرُدُّ الطِّيبَ، وَقَالَ أَنَسٌ: إِنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم كَانَ لا يَرُدُّ الطِّيبَ.

日本語訳：

スマーマ・イブン・アブドゥッラーは言った。アナス・イブン・マーリクは香料を決して断らなかった。そしてアナスは言った。「**預言者 ﷺ は香料を決して断られなかった。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：ムハンマド・イブン・バッシャール ← アブドゥッラフマーン・イブン・マフディー ← アズラ・イブン・サービト ← スマーマ・イブン・アブドゥッラー ← アナス・イブン・マーリク رضي الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 216 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 2582 番にもある。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。イマーム・ブハーリーも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:216

このハディースからの教訓

香料は、**持ち運びは軽いが意味の大きい贈り物**である。それを断れば贈った人の心を傷つけかねないが、受け取っても誰の負担にもならない。だから彼は決してそれ

を断らず、十年にわたって彼に仕えたアナスも、このスンナを自分の生活の中で受け継いだのである。

彼はまたこう言われた。「**あなたがたの世界から、女性と香りが私に好ましいものとされ、私の目の安らぎは礼拝の中に置かれた**」（『スナン・ナサーイー』3939）— ハサン。その順序に注目してほしい。香りは彼の好まれたこの世のものとして挙げられているが、彼の**本当の喜び**は礼拝だったのである。

学者たちは、特にモスクへ行くときや人と会うときに香りをまとうことは、ムスリムの**清潔さと身だしなみ**の一部であると述べている。良い香りは天使と人々を喜ばせ、不快なにおいは隣で礼拝する人を困らせかねない。

「断ってはならない三つのもの」

イブン・ウマル رضى الله عنهما は彼の言葉を伝えている。**「三つのものは断ってはならない。クッション、油（香油）、そして乳である」**（『シャマーイル』217）— 伝承経路はハサン。『ジャーミウ・ティルミズィー』2790 にもある。この三つはいずれも、敬意のしるしとして客によく差し出された贈り物であり、それを断ると感謝していないように受け取られかねなかった。

このハディースは**もてなしを受ける作法**を教えている。主人がもたれるためのクッションや、一杯の乳や、香りを差し出したら、喜んで受け取ろう。それは主人を喜ばせ、兄弟愛を深める。今日、このスンナは、ちょっとしたもてなしや小さな贈り物を明るい顔で受け取ることで生かすことができる。

注：香りについての弱い伝承（『シャマーイル』218〜221）

男性の香りは香りがはっきりして色が目立たないもの、女性の香りは色がはっきりして香りが目立たないものだというアブー・フライラの伝承（第 218〜219 番）、天国から来たものだから断ってはならないというバジル（ライハーン）についてのアブー・ウスマーン・ナフディーの伝承（第 220 番）、そしてウマルの前でのジャリールの伝承（第 221 番）は、ズバイル・アリー・ザイーによれば、いずれも**伝承経路が弱く**、第 221 番は非常に弱い。

しかし第 218 番の意味は、ほかの証拠にもとづいて多くの学者が実践している。女性は、親族でない男性のそばを通って外出するときに強い香りをつけることを禁じられ、男性は良い香りをつけることが勧められている。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 218〜221 番。 https://sunnah.com/shamail:218

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

第 33 章：その話し方

第 33 章は**アッラーの使徒 ﷺ の話し方**を描いている。伝承は三つだけの短い章だが、教えに満ちている。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 222 番

حَدَّثَنَا حُمَيْدُ بْنُ مَسْعَدَةَ الْبَصْرِيُّ، قَالَ: حَدَّثَنَا حُمَيْدُ بْنُ الأَسْوَدِ، عَنِ أُسَامَةَ بْنِ زَيْدٍ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، عَنْ عُرْوَةَ، عَنْ عَائِشَةَ، قَالَتْ: مَا كَانَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم يَسْرُدُ سَرْدَكُمْ هَذَا، وَلَكِنَّهُ كَانَ يَتَكَلَّمُ بِكَلامٍ بَيِّنٍ فَصْلٍ، يَحْفَظُهُ مَنْ جَلَسَ إِلَيْهِ.

日本語訳：

アーイシャ رضى الله عنها は言った。「**アッラーの使徒 ﷺ は、あなたがたのように言葉を次々とまくし立てて話されることはなかった。そうではなく、はっきりと区切られた言葉で話され、そばに座った人はそれを覚えることができた。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：フマイド・イブン・マスアダ・バスリー ← フマイド・イブン・アスワド ← ウサーマ・イブン・ザイド・ライスィー ← ズフリー ← ウルワ・イブン・ズバイル ← 信仰者たちの母アーイシャ رضى الله عنها。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 222 番に収録。『ジャーミウ・ティルミズィー』第 3639 番にもある。

判定： サヒーフ — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。

ソース：https://sunnah.com/shamail:222

このハディースからの教訓

アッラーの使徒 ﷺ は教師であり、良い教師は賢く見せるためではなく、**理解してもらうため**に話す。ブハーリーの伝承でアーイシャは、彼の話し方はとても明瞭で、**数えようと思えばその言葉を数えることができるほどだった**と述べている（『サヒーフ・ブハーリー』3568）。

アナス رضي الله عنه は付け加えた。「**アッラーの使徒 ﷺ は、理解されるように言葉を三度繰り返された**」（『シャマーイル』223）— サヒーフ。『サヒーフ・ブハーリー』95 にもある。この繰り返しは聞き手が遅いからではなく、大切なことは**確実に伝わる**必要があるからである。教師、親、そして宣教する人々は、この方法に倣うことができる。

注：ヒンド・イブン・アビー・ハーラの描写（『シャマーイル』224）

ハサン・イブン・アリーは、母方のおじであるヒンド・イブン・アビー・ハーラに、彼の話し方を描いてほしいと頼んだ。ヒンドは、彼がいつも思いにふけり、長く沈黙し、必要なく話さず、短くても意味の豊かな言葉（ジャワーミウ・ル＝カリム）で話し、小さな恵みでも大切にし、食べ物をけなされなかったと述べた。その伝承経路はズバイル・アリー・ザイーによれば**ダイーフ**である。しかしその意味の多くは、ほかのサヒーフな伝承によって支えられている。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 224 番 — 伝承経路はダイーフ（ズバイル・アリー・ザイー）。 https://sunnah.com/shamail:224

第 34 章：その笑い

第 34 章は**アッラーの使徒 ﷺ の笑い**を描いている。本書の題名はこの章から取られている。

ハディース ― 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 227 番

حَدَّثَنَا أَحْمَدُ بْنُ خَالِدٍ الْخَلَالُ، قَالَ: حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ إِسْحَاقَ السَّيْلَحَانِيُّ، قَالَ: حَدَّثَنَا لَيْثُ بْنُ سَعْدٍ، عَنْ يَزِيدَ بْنِ أَبِي حَبِيبٍ، عَنْ عَبْدِ اللهِ بْنِ الْحَارِثِ، قَالَ: مَا كَانَ ضَحِكُ رَسُولِ اللهِ صلى الله عليه وسلم إِلا تَبَسُّمًا.

日本語訳：

アブドゥッラー・イブン・ハーリス رضى الله عنه は言った。「**アッラーの使徒 ﷺ の笑いは、ほほえみにほかならなかった。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アフマド・イブン・ハーリド・ハッラール ← ヤフヤー・イブン・イスハーク・サイラハーニー ← ライス・イブン・サアド ← ヤズィード・イブン・アビー・ハビーブ ← アブドゥッラー・イブン・ハーリス・イブン・ジャズウ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 227 番に収録。『ジャーミウ・ティルミズィー』第 3642 番にもある。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） ― ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。

ソース：https://sunnah.com/shamail:227

このハディースからの教訓

彼の笑いは**ほほえみ**であり、大声で笑い転げるものではなかった。それは彼が陰気だったという意味ではない。むしろ彼はいつも明るかったが、その明るさは**落ち着きと威厳**に彩られていた。彼はまたこう言われた。「笑いすぎてはならない。笑いすぎは心を死なせる」（『スナン・イブン・マージャ』4193）― ハサン。

ほほえみはまた**施し**でもある。彼は言われた。「あなたの兄弟の顔に向けるあなたのほほえみは施しである」（『ジャーミウ・ティルミズィー』1956）。それは最も簡単な施しである。財もいらず、疲れることもないが、それを見た人の心を晴れやかにする。

注：ほほえみについての弱い伝承（『シャマーイル』225〜226）

彼のすねは細く、その笑いはほほえみにすぎず、彼を見ると「コホルを塗っていないのに塗っているように見えた」というジャービル・イブン・サムラの伝承（第 225 番）と、「アッラーの使徒 ﷺ ほどよくほほえむ人を私は見たことがない」というアブドゥッラー・イブン・ハーリスの伝承（第 226 番）は、ズバイル・アリー・ザイーによれば、どちらも**伝承経路が弱い**。彼のほほえみの意味は、上のサヒーフな伝承で確立している。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 225〜226 番。 https://sunnah.com/shamail:225

「私を見るといつもほほえまれた」

イエメン出身の教友ジャリール・イブン・アブドゥッラー・バジャリーは、アッラーの使徒 ﷺ に会うたびに決して変わらなかった一つのことを覚えていた。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 229 番

حَدَّثَنَا أَحْمَدُ بْنُ مَنِيعٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا مُعَاوِيَةُ بْنُ عَمْرٍو، قَالَ: حَدَّثَنَا زَائِدَةُ، عَنْ بَيَانٍ، عَنْ قَيْسِ بْنِ أَبِي حَازِمٍ، عَنْ جَرِيرِ بْنِ عَبْدِ اللهِ، قَالَ: مَا حَجَبَنِي رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم مُنْذُ أَسْلَمْتُ، وَلا رَآنِي إِلا ضَحِكَ.

日本語訳：

ジャリール・イブン・アブドゥッラー رضى الله عنه は言った。「**私がイスラームに入って以来、アッラーの使徒 ﷺ は私に会うことを拒まれたことがなく、私を見るといつもほほえまれた。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アフマド・イブン・マニーウ ← ムアーウィヤ・イブン・アムル ← ザーイダ・イブン・クダーマ ← バヤーン・イブン・ビシュル ← カイス・イブン・アビー・ハーズィム ← ジャリール・イブン・アブドゥッラー・バジャリー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 229 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 3035 番にもある。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:229

このハディースからの教訓

ジャリールは、彼の生涯の最後の数年にイスラームに入った部族の長であった。それでも彼は一度も入室を拒まれず、**彼を見るたびにほほえまれた**。ジャリールの気持ちを想像してほしい。会うたびに、喜びにあふれた顔で迎えられたのである。これこそ彼が人々の**心をつかまれた**方法であった。

ブハーリーの伝承でジャリールは、馬の上にしっかり座れないと訴えると、彼がその胸を打って「アッラーよ、彼をしっかりさせ、正しく導かれた導き手としてください」と祈られたと付け加えている（『サヒーフ・ブハーリー』3035）。彼のほほえみには、**思いやりと祈り**がともなっていたのである。

イマーム・ティルミズィーは同じ伝承を別の経路でも繰り返している（『シャマーイル』230）— サヒーフ。教えははっきりしている。家族、友人、客をほほえみで迎えよう。心からのほほえみは、良い人間関係と実りある宣教の始まりとなりうる。

奥歯が見えるほどの笑い

彼の笑いはふだんはほほえみであったが、**奥歯が見えるほど**笑われたこともあった。興味深いことに、そうした伝承の多くは**アッラーの広大な慈悲**に関わっている。アブー・ザッル رضى الله عنه は、審判の日に連れ出される一人の男についての彼の言葉を伝えている。その男には小さな罪が示され、大きな罪は隠される。彼は恐れながらそのすべてを認めると、こう言われる。「彼の悪い行い一つ一つを善い行いに替えよ。」

すると男は言う。「**私には、ここに見えない罪がまだあります。**」アブー・ザッルは言った。「私はアッラーの使徒 ﷺ が奥歯が見えるほど笑われるのを見た」（『シャマーイル』228）— サヒーフ。『サヒーフ・ムスリム』190 にもある。さっきまで恐れていた男が、今度は大きな罪まで見せてほしいと願う。それが善い行いに変えられるからである。

イブン・マスウード رضى الله عنه は、**最後に地獄から出る人**の話を伝えている。彼は天国に入るよう言われるが、もういっぱいだと思う。すると「望みを言いなさい」と言われ、望んだものに加えて**この世の十倍**を与えられる。彼は言う。「王であるあなたが、私をからかっておられるのですか。」イブン・マスウードは言った。「私はアッラーの使徒 ﷺ が奥歯が見えるほど笑われるのを見た」（『シャマーイル』231）— サヒーフ。『サヒーフ・ブハーリー』6571 にもある。

注：塹壕の戦いでの笑い（『シャマーイル』233）

盾の陰に隠れていた敵をサアドが射たとき、彼が塹壕の戦いで笑われたというサアド・イブン・アビー・ワッカースの伝承は、ズバイル・アリー・ザイーによれば**伝承経路が弱い**。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 233 番 — 伝承経路はダイーフ（ズバイル・アリー・ザイー）。 https://sunnah.com/shamail:233

赦しを求めるしもべを喜ばれるアッラー

アリー・イブン・ラビーアは、アリー・イブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه が乗り物に乗るのを見たと語っている。あぶみに足をかけると**ビスミッラー**と唱え、背に落ち着くと**アル＝ハムドゥ・リッラー**と唱え、それから乗り物に乗るときの祈りを唱え、三度アッラーを称え、三度アッラーの偉大さを唱え、そしてこう祈った。「あなたに栄光あれ。私は自分自身に不正を行いました。どうか私をお赦しください。あなた以外に罪を赦す者はいないのですから。」

乗り物に乗るときのこの祈りは、クルアーンから取られている。「**かれを讃えます。これらのものをわたしたちに服従させる御方**」（金の装飾章 43:13）— タフスィール・イブン・カスィール 43:13。

それからアリーは笑った。理由を尋ねられると、アッラーの使徒 ﷺ が同じようにされてから笑われたのを見たと言い、彼はこう言われたと伝えた。「**あなたがたの主は、しもべが『私の罪をお赦しください』と言うのを喜ばれる。かれ以外に罪を赦す者はいないと知っているからである**」（『シャマーイル』232）— サヒーフ。『ジャーミウ・ティルミズィー』3446 にもある。

ここでの彼の笑いは、アッラーの慈悲を**喜ぶ笑い**である。自分の罪を認め、アッラーだけが赦されると知っているしもべは、本当に主を知っているのである。このハディースはまた**旅の祈り**も教えてくれる。車、バイク、飛行機に乗るたびに唱えよう。

第 35 章：その冗談

第 35 章は**アッラーの使徒 ﷺ の冗談**を描いている。彼は冗談を言われたが、その冗談には決して破られることのない一つの条件があった。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 236 番

حَدَّثَنَا عَبَّاسُ بْنُ مُحَمَّدٍ الدُّورِيُّ، قَالَ: حَدَّثَنَا عَلِيُّ بْنُ الْحَسَنِ بْنِ شَقِيقٍ، قَالَ: أَنبأَنَا عَبْدُ اللهِ بْنُ الْمُبَارَكِ، عَنِ أُسَامَةَ بْنِ زَيْدٍ، عَنْ سَعِيدٍ الْمَقْبُرِيِّ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ: قَالُوا: يَا رَسُولَ اللهِ، إِنَّكَ تُدَاعِبُنَا، قَالَ: إِنِّي لا أَقُولُ إِلا حَقًّا.

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。彼ら（教友たち）は言った。「アッラーの使徒よ、あなたは私たちに冗談をおっしゃいます。」彼は言われた。「**確かに。しかし私は真実しか言わない。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アッバース・イブン・ムハンマド・ドゥーリー ← アリー・イブン・ハサン・イブン・シャキーク ← アブドゥッラー・イブン・ムバーラク ← ウサーマ・イブン・ザイド・ライスィー ← サイード・イブン・アビー・サイード・マクブリー ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 236 番に収録。『ジャーミウ・ティルミズィー』第 1990 番にもある。

判定： 伝承経路はハサン（良好） — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。

ソース：https://sunnah.com/shamail:236

このハディースからの教訓

教友たちは少し驚いた。預言者が冗談を言われるのか、と。彼は、自分の冗談には**決して偽りが含まれない**と説明された。これが許される冗談と禁じられた冗談の境目である。彼は言われた。「人を笑わせるために話をして嘘をつく者は災いである」（『ジャーミウ・ティルミズィー』2315）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アナス رضى الله عنه は、彼がかつて自分を「**二つの耳を持つ者よ**」と呼ばれたと伝えている（『シャマーイル』234）— ハサン。それは本当の冗談である。誰にでも耳は二つあるのだから。しかしそれは、彼に仕える少年への親しみをこめた言葉であった。一部の学者は、それは**よく聞く**アナスへのほめ言葉でもあったと述べている。

真実の冗談には**大きな益**がある。雰囲気を明るくし、関係を深め、指導者に対する人々の恐れを取り除く。しかしそれは、人の心を傷つけたり、侮辱したり、見下したりするものであってはならない。

アブー・ウマイルと小鳥

彼の冗談の中で最も心を打つものの一つは、**幼い子ども**との冗談である。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 235 番

حَدَّثَنَا هَنَّادُ بْنُ السَّرِيِّ، قَالَ: حَدَّثَنَا وَكِيعٌ، عَنْ شُعْبَةَ، عَنْ أَبِي التَّيَّاحِ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، قَالَ: إِنْ كَانَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم، لَيُخَالِطُنَا حَتَّى يَقُولَ لأَخٍ لِي صَغِيرٍ: يَا أَبَا عُمَيْرٍ، مَا فَعَلَ النُّغَيْرُ؟

日本語訳：

アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه は言った。「**アッラーの使徒 ﷺ は私たちととても親しく交わられ、私の幼い弟にこう言われるほどであった。『アブー・ウマイルよ、ヌガイル（小鳥）はどうしたかい。』」**

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：ハンナード・イブン・サリー ← ワキーウ ← シュウバ・イブン・ハッジャージュ ← アブー・タイヤーフ ← アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 235 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 6129 番にもある。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:235

このハディースからの教訓

アブー・ウマイルはアナスの弟で、小さな鳥（ヌガイル）を飼っている幼い子どもであった。その鳥が死んで彼が悲しんでいると、アッラーの使徒 ﷺ は**韻を踏んだ**言葉——「ヤー・アバー・ウマイル、マー・ファアラン・ヌガイル」——で話しかけ、彼の心を慰められた。ウンマの指導者が、一人の子どもの悲しみのために時間を割かれたのである。

学者たちはこの短いハディースについて特別な書物を著し、そこから**何十もの教え**を引き出した。子どもをクンヤ（「アブー・何々」）で呼んでよいこと、子どもと冗談を交わしてよいこと、子どもが鳥と遊んでよいこと、そして指導者は民と交わるべきことなどである。

親や祖父母はこのスンナに倣うことができる。**子どもの世界を大切に**しよう。おもちゃ、ペット、そして小さな喜び。大切にされていると感じる子どもは、自信と思いやりのある人に育つ。

アナスの家族にとって、この出来事は忘れられない思い出となった。アッラーの使徒 ﷺ がわが家の幼い子の名を覚え、その小鳥のことまで気にかけてくださったのである。人の心は、大きな贈り物よりも、こうした小さな心づかいによって動かされることが多い。

雌ラクダの子とザーヒル

アナス رضى الله عنه は、ある男が彼に乗り物を求めたと語っている。彼は言われた。「あなたを**雌ラクダの子**に乗せてあげよう。」男は戸惑った。「アッラーの使徒よ、雌ラクダの子をどうしろとおっしゃるのですか。」彼は言われた。「**ラクダを産むのは雌ラクダ以外にあるだろうか。**」（『シャマーイル』237）— 伝承経路はサヒーフ。この冗談はまったくの真実である。大人のラクダも、その母にとっては「子」なのだから。

ハディース —『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 238 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ بْنُ مَنْصُورٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّزَّاقِ، قَالَ: حَدَّثَنَا مَعْمَرٌ، عَنْ ثَابِتٍ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، أَنَّ رَجُلًا مِنْ أَهْلِ الْبَادِيَةِ كَانَ اسْمُهُ زَاهِرًا، وَكَانَ يُهْدِي إِلَى النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم، هَدِيَّةً مِنَ الْبَادِيَةِ، فَيُجَهِّزُهُ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم، إِذَا أَرَادَ أَنْ يَخْرُجَ، فَقَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم: إِنَّ زَاهِرًا بَادِيَتُنَا وَنَحْنُ حَاضِرُوهُ وَكَانَ صلى الله عليه وسلم يُحِبُّهُ وَكَانَ رَجُلًا دَمِيمًا، فَأَتَاهُ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم، يَوْمًا وَهُوَ يَبِيعُ مَتَاعَهُ وَاحْتَضَنَهُ مِنْ خَلْفِهِ وَهُوَ لا يُبْصِرُهُ، فَقَالَ: مَنْ هَذَا؟ أَرْسِلْنِي فَالْتَفَتَ فَعَرَفَ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم فَجَعَلَ لا يَأْلُو مَا أَلْصَقَ ظَهْرَهُ بِصَدْرِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم حِينَ عَرَفَهُ، فَجَعَلَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم، يَقُولُ: مَنْ يَشْتَرِي هَذَا الْعَبْدَ، فَقَالَ: يَا رَسُولَ اللهِ، إِذًا وَاللَّهِ تَجِدُنِي كَاسِدًا، فَقَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم: لَكِنْ عِنْدَ اللهِ لَسْتَ بِكَاسِدٍ أَوْ قَالَ: أَنْتَ عِنْدَ اللهِ غَالٍ.

日本語訳：

アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه によると、砂漠の民にザーヒルという名の男がいて、砂漠から預言者 ﷺ に贈り物を持って来ていた。預言者 ﷺ も、彼が帰ろうとするときには支度を整えてやられた。預言者 ﷺ は言われた。「ザーヒルは私たちの砂漠であり、私たちは彼の町である。」預言者 ﷺ は彼を愛しておられたが、彼は見た目のよくない男であった。ある日、彼が品物を売っていると、預言者 ﷺ がやって来て、彼に見

えないように後ろから抱きしめられた。彼は言った。「放してくれ。誰だ。」それから振り返って預言者 ﷺ だとわかると、彼は自分の背中を預言者の胸にぴったりと押しつけ続けた。預言者 ﷺ は言われた。「この奴隷を買う者はいないか。」彼は言った。「アッラーの使徒よ、それではアッラーにかけて、私は売れ残りの品でしょう。」預言者 ﷺ は言われた。「**しかしアッラーのもとでは、あなたは売れ残りではない。**」あるいはこう言われた。「**アッラーのもとで、あなたはとても価値がある。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：イスハーク・イブン・マンスール ← アブドゥッラッザーク ← マアマル・イブン・ラーシド ← サービト・ブナーニー ← アナス・イブン・マーリク رضي الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 238 番に収録。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。

ソース：https://sunnah.com/shamail:238

このハディースからの教訓

ザーヒルは**見た目のよくない**、貧しいベドウィンであった。しかしアッラーの使徒 ﷺ は彼を愛し、市場の真ん中で冗談を言い、後ろから抱きしめられた。ザーヒルが「私は売れ残りの品です」と自分を卑下すると、彼はその心を引き上げられた。**「アッラーのもとで、あなたはとても価値がある。」**

このハディースは、**人の価値は見た目や財産にはない**ことを教えている。彼は社会から見下されていた人を尊び、冗談を彼らの心を喜ばせる手段とされた。ザーヒルは砂漠の産物を贈り物として持って来て、彼は帰りの支度でそれに報いられた。互いに与え合う関係である。

私たちの周りにも、ザーヒルのように、見た目や貧しさのために見過ごされている人がいるかもしれない。市場で働く人、清掃をする人、遠くから訪ねて来る親戚。

彼らに名前で呼びかけ、ほほえみ、ときには明るい冗談を交わすことは、アッラーの使徒ﷺの人柄に倣うことなのである。

注：老女と天国（『シャマーイル』239）

ハサン・バスリーは、ある老女が彼に天国に入れるよう祈ってほしいと頼んだと伝えている。彼は言われた。「老女は天国に入らない。」彼女が泣きながら去ると、彼は、彼女は老女のままで天国に入るのではない、アッラーは天国の住人を若返らせられるのだから、と説明された（出来事章 56:35〜37）。この伝承はズバイル・アリー・ザイーによれば**ムルサルで、伝承経路が弱い**が、その意味はこれらの節と一致している。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 239 番 — 伝承経路はダイーフ（ズバイル・アリー・ザイー）。 https://sunnah.com/shamail:239

第 36 章：詩

第 36 章は**詩についての彼の言葉**を集めている。アッラーは、アッラーの使徒 ﷺ が詩人であることを否定しておられる。「**われはかれ（ムハンマド）に詩を教えなかった。それはかれに相応しくない**」（ヤー・スィーン章 36:69）— タフスィール・イブン・カスィール 36:69。

しかしそれは、彼がすべての詩を嫌われたという意味ではない。詩は言葉にすぎず、**良いものはほめられ、悪いものはとがめられる**。彼は真実で知恵のある詩をほめられた。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 241 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّحْمَنِ بْنُ مَهْدِيٍّ، قَالَ: حَدَّثَنَا سُفْيَانُ الثَّوْرِيُّ، عَنْ عَبْدِ الْمَلِكِ بْنِ عُمَيْرٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا أَبُو سَلَمَةَ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ: قَالَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم: إِنَّ أَصْدَقَ كَلِمَةٍ قَالَهَا الشَّاعِرُ، كَلِمَةُ لَبِيدٍ: أَلَا كُلُّ شَيْءٍ مَا خَلا اللَّهَ بَاطِلٌ، وَكَادَ أُمَيَّةُ بْنُ أَبِي الصَّلْتِ أَنْ يُسْلِمَ.

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「**詩人が語った最も真実な言葉は、ラビードの言葉である。『まことに、アッラー以外のすべてのものは、はかなく消え去る。』**」そして、ウマイヤ・イブン・アビー・サルトはもう少しでイスラームに入るところであった。

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：ムハンマド・イブン・バッシャール ← アブドゥッラフマーン・イブン・マフディー ← スフヤーン・サウリー ← アブドゥルマリク・イブン・ウマイル ← アブー・サラマ・イブン・アブドゥッラフマーン ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 241 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 3841 番にもある。

判定： サヒーフ — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:241

このハディースからの教訓

ラビード・イブン・ラビーアは、ジャーヒリーヤ（イスラーム以前）の時代の有名なアラブの詩人で、のちにイスラームに入った。その詩句「**まことに、アッラー以外のすべてのものは、はかなく消え去る**」は、タウヒード（唯一神信仰）の真理を言い表している。アッラーだけが永遠であり、ほかのすべては滅びる。別の伝承で彼は、これをアラブ人が語った**最も詩的な言葉**と呼ばれた（『シャマーイル』247）— サヒーフ。

ウマイヤ・イブン・アビー・サルトは、タウヒードと知恵に満ちた詩を詠んだ詩人であったが、**イスラームに入らなかった**。シャリード رضي الله عنه は、預言者の後ろに乗ってウマイヤの詩を百句朗唱したところ、一句ごとに彼は「続けなさい」と言われ、そして「彼はもう少しでイスラームに入るところであった」と言われたと語っている（『シャマーイル』248）— サヒーフ。知識や美しい言葉も、**信仰**がなければ十分ではない。

注：イブン・ラワーハの詩句（『シャマーイル』240）

アーイシャは、彼が詩を引用されたことがあるかと尋ねられ、彼はときにイブン・ラワーハの詩句「あなたが支度をしてやらなかった者が、あなたに知らせを運んで来るだろう」を引用されたと答えた。その伝承経路はズバイル・アリー・ザイーによれば**ダイーフ**である。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 240 番 — 伝承経路はダイーフ（ズバイル・アリー・ザイー）。 https://sunnah.com/shamail:240

戦場の詩句

彼は、詩を作るつもりはなくても、詩のような調子の言葉を口にされることがあった。ジュンドゥブ・イブン・スフヤーン رضى الله عنه は、彼の指が石に当たって血が出たとき、彼がこう言われたと伝えている。「**おまえは血を流した一本の指にすぎないではないか。おまえが受けた傷は、アッラーの道においてである**」（『シャマーイル』242）— 伝承経路はサヒーフ。『サヒーフ・ブハーリー』2802 にもある。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 244 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ سَعِيدٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا سُفْيَانُ الثَّوْرِيُّ، قَالَ: أَنْبَأَنَا أَبُو إِسْحَاقَ، عَنِ الْبَرَاءِ بْنِ عَازِبٍ، قَالَ: قَالَ لَهُ رَجُلٌ: أَفَرَرْتُمْ عَنْ رَسُولِ اللهِ صلى الله عليه وسلم يَا أَبَا عُمَارَةَ؟ فَقَالَ: لا وَاللهِ مَا وَلَّى رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم، وَلَكِنْ وَلَّى سَرَعَانُ النَّاسِ، تَلَقَّتْهُمْ هَوَازِنُ بِالنَّبْلِ، وَرَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم، عَلَى بَغْلَتِهِ، وَأَبُو سُفْيَانَ بْنُ الْحَارِثِ بْنِ عَبْدِ الْمُطَّلِبِ آخِذٌ بِلِجَامِهَا، وَرَسُولُ اللهِ يَقُولُ: أَنَا النَّبِيُّ لا كَذِبْ أَنَا ابْنُ عَبْدِ الْمُطَّلِبْ.

日本語訳：

バラーゥ・イブン・アーズィブ رضى الله عنهما に、ある男が尋ねた。「アブー・ウマーラよ、あなたがたは（フナインの戦いで）アッラーの使徒 ﷺ から逃げたのですか。」彼は言った。「いいえ、アッラーにかけて。アッラーの使徒 ﷺ は背を向けられなかった。ただ、急ぎすぎた人々が、ハワーズィン族の矢を浴びて退いたのである。アッラーの使徒 ﷺ は白い雌ラバに乗っておられ、アブー・スフヤーン・イブン・ハーリス・イブン・アブドゥルムッタリブがその手綱を取っていた。アッラーの使徒 ﷺ はこう言っておられた。**『私は預言者である、偽りではない。私はアブドゥルムッタリブの子である。』**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：ムハンマド・イブン・バッシャール ← ヤフヤー・イブン・サイード・カッターン ← スフヤーン・サウリー ← アブー・イスハーク・サビーイー ← バラーゥ・イブン・アーズィブ رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 244 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 2864 番にもある。

判定： サヒーフ — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:244

このハディースからの教訓

フナインの戦いはマッカ征服の後に起こった。ムスリムの軍はとても大きく、中には**数の多さを誇る**者もいた。ハワーズィン族の矢による待ち伏せを受けると、多くが退いた。しかしアッラーの使徒 ﷺ はラバの上で揺るがず、「私は預言者である、偽りではない」と叫びながら、**敵に向かって進まれた**のである。

彼の言葉は調子が整っていたが、それは作られた詩ではなく、とっさに出たものであった。それは彼の並はずれた**勇気**を示している。彼は、敵に自分だとわかるように、恐れることなく自分の名と家系をはっきりと告げられた。この勇気は、アッラーの約束を確信する**完全なタワックル（アッラーへの信頼）**から生まれたものである。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハッサーン・イブン・サービトとイブン・ラワーハ

詩はまた**イスラームを守る**ためにも用いられた。ウムラ・ル＝カダーゥのとき、アブドゥッラー・イブン・ラワーハは彼の前を歩きながら多神教徒に向けて詩を詠んだ。ウマルは、アッラーの使徒 ﷺ の前で、しかも聖域で詩を詠むのかと彼をとがめたが、彼は言われた。「**ウマルよ、彼を放っておきなさい。それは彼らに矢の雨よりも早く届くのだから**」（『シャマーイル』245）— 伝承経路はハサン。『ジャーミウ・ティルミズィー』2847にもある。

アーイシャ رضى الله عنها は、アッラーの使徒 ﷺ が**モスクにハッサーン・イブン・サービトのための説教壇**を置かれ、彼はその上に立って詩でアッラーの使徒 ﷺ をたたえ、守ったと言った。彼は言われた。「**ハッサーンがアッラーの使徒 ﷺ を守っている限り、アッラーは聖霊によって彼を支えられる**」（『シャマーイル』249）— 伝承経路はハサン。『ジャーミウ・ティルミズィー』2846にもある。

ジャービル・イブン・サムラ رضى الله عنه は言った。「私は百回以上、預言者 ﷺ と同席した。教友たちは互いに詩を詠み合い、ジャーヒリーヤの時代のことを語り合ったが、彼は黙っておられ、**ときには彼らとともにほほえまれた**」（『シャマーイル』246）— サヒーフ。『ジャーミウ・ティルミズィー』2850 にもある。彼の集まりは堅苦しいものではなく、温かく、しかも節度を保っていた。

教えはこうである。芸術や美しい言葉は、**宣教と真理を守るための道具**となりうる。今日、詩、ナシード、文章、メディアも同じ役割を果たすことができる。その内容が真実であり、アッラーから心をそらすものでない限り。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

第 37 章：夜の語らい

第 37 章は「**アッラーの使徒 ﷺ の夜の語らいについて伝えられたこと**」と題されている。一般に彼は、夜の礼拝やファジュルの礼拝に遅れないよう、**イシャーの礼拝の後に話し込むことを好まれなかった**（『サヒーフ・ブハーリー』568）。しかし、特に家族との良い有益な語らいは許されていた。

注：フラーファの話（『シャマーイル』251）

アーイシャは、彼がある夜、妻たちに一つの話をされると、そのうちの一人が「まるでフラーファの話のようです」と言ったと伝えている。彼は、フラーファとはウズラ族の男で、ジンにさらわれ、戻ってから見てきた不思議を語った人だと説明された。その伝承経路はズバイル・アリー・ザイーによれば**ダイーフ**である。「フラーファの話」という言い回しは、のちに驚くべき話のたとえとなった。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 251 番 — 伝承経路はダイーフ（ズバイル・アリー・ザイー）。 https://sunnah.com/shamail:251

この伝承は弱いが、この章は次の章のサヒーフでとても美しいハディースへの扉を開いてくれる。アーイシャがアッラーの使徒 ﷺ に語った物語であり、彼はそれを最後まで**注意深く聞かれた**のである。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

第 38 章：ウンム・ザルウのハディース

第 38 章にはハディースが一つしかない。**ウンム・ザルウのハディース**である。アーイシャ رضى الله عنها は、**十一人の女性**が集まり、それぞれの夫について何も隠さないと約束したと語っている（『シャマーイル』252）— 伝承経路はサヒーフ。『サヒーフ・ブハーリー』5189 にもある。女性たちはそれぞれ、韻を踏んだ、たとえに満ちたアラビア語で自分の夫を描いた。

ある夫は、**山の頂にあるやせたラクダの肉**のように描かれた。登るのは難しく、取りに行く価値もない。ある夫は背が高すぎて性格が悪く、妻が話せば離婚され、黙っていれば宙ぶらりんにされる。一方でほめられた夫もいる。**ティハーマの夜のように**、暑くも寒くもなく、恐ろしくも退屈でもない、と。

十一人目の女性**ウンム・ザルウ**は、夫アブー・ザルウを最も長いほめ言葉で描いた。彼は装身具と食べ物で彼女を大切にし、彼女の家族を敬い、その家は豊かさに満ちていた。しかしある日、アブー・ザルウは彼女を離婚し、別の女性と結婚した。ウンム・ザルウはのちに気前のよい男と結婚したが、こう言った。**その人がくれたものすべてを集めても、アブー・ザルウの最も小さな器にも及ばない**、と。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「私はあなたにとってアブー・ザルウのよう」

アーイシャが話し終えると、アッラーの使徒 ﷺ は彼女に言われた。「**私はあなたにとって、ウンム・ザルウにとってのアブー・ザルウのようである。**」（『シャマーイル』252）。これがこの物語の頂点である。彼は物語の中で最も愛された夫を選び、それによって妻への愛を最も美しい形で表されたのである。

学者たちは、彼がご自身をアブー・ザルウにたとえられたのは**愛情と寛大さ**においてであって、離婚においてではないと述べている。彼は一度もアーイシャを離婚されず、アーイシャは、彼が彼女の腕の中で亡くなられるまで、その妻であり続けた。

このハディースには**夫婦生活の教え**が満ちている。第一に、彼は妻の長い話を飽きることなく**最後まで聞かれた**。第二に、愛をはっきりとした言葉で表された。第三に、この物語は、妻が覚えているのは財産だけではなく、夫の人柄——寛大さ、優しさ、敬意——であることを思い起こさせる。

多くの夫婦が一緒に座っていてもそれぞれの携帯電話に夢中になっている今日、このスンナはとても身近な意味を持つ。配偶者と**話し、耳を傾ける**時間を作り、愛を表すことをためらわないようにしよう。アッラーの使徒 ﷺ ご自身がそうされたのだから。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

第 39 章：その眠り

第 39 章は**アッラーの使徒 ﷺ の眠り**を描いている。眠りはアッラーの大きな恵みである。「**また休息のため，あなたがたの睡眠を定め**」（消息章 78:9）— タフスィール・イブン・カスィール 78:9。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 253 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ الْمُثَنَّى، قَالَ: حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّحْمَنِ بْنُ مَهْدِيٍّ، قَالَ: حَدَّثَنَا إِسْرَائِيلُ، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، عَنْ عَبْدِ اللهِ بْنِ يَزِيدَ، عَنِ الْبَرَاءِ بْنِ عَازِبٍ، أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم، كَانَ إِذَا أَخَذَ مَضْجَعَهُ وَضَعَ كَفَّهُ الْيُمْنَى تَحْتَ خَدِّهِ الأَيْمَنِ، وَقَالَ: رَبِّ قِنِي عَذَابَكَ يَوْمَ تَبْعَثُ عِبَادَكَ.

日本語訳：

バラーゥ・イブン・アーズィブ رضى الله عنهما によると、「**預言者 ﷺ は寝床に横になられると、右の手のひらを右の頬の下に置き、こう言われた。『ラッビ・キニー・アザーバカ・ヤウマ・タブアスゥ・イバーダク（主よ、あなたがしもべたちをよみがえらせる日に、あなたの罰から私をお守りください）。』」**

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：ムハンマド・イブン・ムサンナー ← アブドゥッラフマーン・イブン・マフディー ← イスラーイール・イブン・ユーヌス ← アブー・イスハーク・サビーイー ← アブドゥッラー・イブン・ヤズィード・ハトミー ← バラーゥ・イブン・アーズィブ رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 253 番に収録。『ジャーミウ・ティルミズィー』第 3399 番にもある。

判定： サヒーフ — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。

ソース：https://sunnah.com/shamail:253

このハディースからの教訓

彼は**右側を下にして**、右の手のひらを右の頬の下に置いて眠られた。別の伝承では「ヤウマ・タジュマウ・イバーダク（あなたがしもべたちを集める日に）」と言われている（『シャマーイル』254）— サヒーフ。この祈りは、**眠りは死に似ており**、目覚めは復活に似ていることを思い出させる。

医師たちもまた、右側を下にして眠ることは多くの人にとって**心臓の負担を軽くし**、消化を助けると述べている。しかし私たちがそれを実践するのは、何よりもそれがスンナだからであり、正しい意図で実践されるスンナの一つ一つが、私たちの眠りを**崇拝の価値あるもの**にするのである。

眠る前と目覚めたときの祈り

眠る前と目覚めた後、アッラーの使徒 ﷺ は短いがとても意味の深い祈りを唱えられた。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 255 番

حَدَّثَنَا مَحْمُودُ بْنُ غَيْلاَنَ، قَالَ: حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّزَّاقِ، قَالَ: حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، عَنْ عَبْدِ الْمَلِكِ بْنِ عُمَيْرٍ، عَنْ رِبْعِيِّ بْنِ حِرَاشٍ، عَنْ حُذَيْفَةَ، قَالَ: كَانَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم إِذَا أَوَى إِلَى فِرَاشِهِ، قَالَ: اللَّهُمَّ بِاسْمِكَ أَمُوتُ وَأَحْيَا، وَإِذَا اسْتَيْقَظَ، قَالَ: الْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي أَحْيَانَا بَعْدَمَا أَمَاتَنَا وَإِلَيْهِ النُّشُورُ.

日本語訳：

フザイファ رضى الله عنه は言った。預言者 ﷺ は寝床に就かれると、こう言われた。「**アッラーフンマ・ビスミカ・アムートゥ・ワ・アフヤー（アッラーよ、あなたの御名において私は死に、そして生きます）。**」そして目を覚まされると、こう言われた。「**アル＝ハムドゥ・リッラーヒッラズィー・アフヤーナー・バアダ・マー・アマータナー・ワ・イライヒン＝ヌシュール（私たちを死なせた後に生かしてくださったアッラーに称賛あれ。復活はかれのもとにある）。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：マフムード・イブン・ガイラーン ← アブドゥッラッザーク ← スフヤーン・サウリー ← アブドゥルマリク・イブン・ウマイル ← リブイー・イブン・ヒラーシュ ← フザイファ・イブン・ヤマーン رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 255 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 6312 番にもある。

判定： サヒーフ — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。イマーム・ブハーリーも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:255

このハディースからの教訓

この祈りには**死と復活への自覚**が込められている。毎晩、私たちはしばらくのあいだ「死に」、毎朝、アッラーが私たちを再び生かしてくださる。だから新しい一日は、悔い改め、善行を積み、感謝するための**新しい機会**なのである。

彼はまた、眠る前に**基本的な恵み**についてアッラーを称えられた。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 258 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ بْنُ مَنْصُورٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا عَفَّانُ، قَالَ: حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ سَلَمَةَ، عَنْ ثَابِتٍ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، أَنَّ رَسُولَ اللهِ صلى الله عليه وسلم، كَانَ إِذَا أَوَى إِلَى فِرَاشِهِ، قَالَ: الْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي أَطْعَمَنَا وَسَقَانَا وَكَفَانَا وَآوَانَا، فَكَمْ مِمَّنْ لا كَافِيَ لَهُ وَلا مُؤْوِيَ.

日本語訳：

アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه によると、アッラーの使徒 ﷺ は寝床に就かれると、こう言われた。「**私たちに食べさせ、飲ませ、満たし、住まいを与えてくださったアッラーに称賛あれ。満たしてくれる者も、住まいを与えてくれる者もいない人が、どれほど多いことか。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：イスハーク・イブン・マンスール ← アッファーン・イブン・ムスリム ← ハンマード・イブン・サラマ ← サービト・ブナーニー ← アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 258 番に収録。『サヒーフ・ムスリム』第 2715 番にもある。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。イマーム・ムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:258

このハディースからの教訓

この祈りは恵みを数えることを教えている。**食べ物、飲み物、満たされること、そして住まい**である。それから彼は、それらを持たない多くの人々を思われた。この祈りは、毎晩目を閉じる前に、私たちの中に**感謝と共感**を育ててくれる。

眠る前の三つの「クル」

アーイシャ رضى الله عنها は、毎晩眠る前の彼の習慣を描いている。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 256 番

حَدَّثَنَا قُتَيْبَةُ بْنُ سَعِيدٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا الْمُفَضَّلُ بْنُ فَضَالَةَ، عَنْ عُقَيْلٍ، أُرَاهُ عَنِ الزُّهْرِيِّ، عَنْ عُرْوَةَ، عَنْ عَائِشَةَ، قَالَتْ: كَانَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم، إِذَا أَوَى إِلَى فِرَاشِهِ كُلَّ لَيْلَةٍ جَمَعَ كَفَّيْهِ فَنَفَثَ فِيهِمَا، وَقَرَأَ فِيهِمَا: قُلْ هُوَ اللَّهُ أَحَدٌ وَ قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ الْفَلَقِ وَ قُلْ أَعُوذُ بِرَبِّ النَّاسِ، ثُمَّ مَسَحَ بِهِمَا مَا اسْتَطَاعَ مِنْ جَسَدِهِ، يَبْدَأُ بِهِمَا رَأْسَهُ وَوَجْهَهُ وَمَا أَقْبَلَ مِنْ جَسَدِهِ، يَصْنَعُ ذَلِكَ ثَلَاثَ مَرَّاتٍ.

日本語訳：

アーイシャ رضى الله عنها は言った。**「アッラーの使徒 ﷺ は毎晩寝床に就かれると、両手のひらを合わせてそこに息を吹きかけ、『クル・フワッラーフ・アハド』『クル・アウーズ・ビラッビル・ファラク』『クル・アウーズ・ビラッビン・ナース』を唱えられた。それから、その両手で体のなでられるところをなでられた。頭と顔と体の前面から始め、それを三回された。」**

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：クタイバ・イブン・サイード ← ムファッダル・イブン・ファダーラ ← ウカイル・イブン・ハーリド ← ズフリー ← ウルワ・イブン・ズバイル ← 信仰者たちの母アーイシャ رضى الله عنها。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 256 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 5017 番にもある。

判定： サヒーフ — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。イマーム・ブハーリーも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:256

このハディースからの教訓

この三つの章——**純正章、黎明章、人間章**——は、ムアウウィザート（守りの章）として知られている。純正章はタウヒードを確認し、黎明章は被造物の悪や魔術から

の守りを求め、人間章は悪魔のささやきからの守りを求める。彼はこれらを眠る前の**とりで**とされた。

その方法にも注目したい。**両手のひらを合わせ、息を吹きかけ、唱え、それから体をなでる**。頭と顔から始め、それを三回行う。二分もかからない簡単な実践であり、幼いころから子どもたちに教えることができる。

彼は眠る前のほかの作法も教えられた。何がのっているかわからないので、まず**寝床を払う**こと（『サヒーフ・ブハーリー』6320）、そして朝までアッラーに守られるという玉座の節（アーヤ・ル＝クルスィー）を唱えることである（『サヒーフ・ブハーリー』2311）。

その横になり方

アブー・カターダ رضى الله عنه は、預言者 ﷺ が旅の途中で夜に休まれるときには**右側を下にして横になられた**が、夜明けの直前に休まれるときには、**腕を立てて手のひらの上に頭をのせられた**と語っている（『シャマーイル』259）— サヒーフ。『サヒーフ・ムスリム』683 にもある。

学者たちはその知恵を説明している。手のひらに頭をのせて横になると、眠りが**深くなりすぎず**、ファジュルの礼拝を逃さずにすむ。これは、彼が礼拝を守るために**眠りを計画された**ことを示している。よく寝過ごしてしまう私たちにとって、大切な教えである。

イブン・アッバース رضى الله عنهما は、彼がいびきが聞こえるほど眠られ、ビラールが礼拝に呼びに来ると、起き上がって**ウドゥーをし直さずに**礼拝されたと伝えている（『シャマーイル』257）— サヒーフ。これは預言者たちに特有のことである。彼が言われたように、**その目は眠っても、その心は眠らない**からである（『シャマーイル』269）。私たちの場合、深い眠りはウドゥーを無効にする。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

第 40 章：その崇拝

本書の最後の章である第 40 章は、**アッラーの使徒 ﷺ の崇拝**を描いている。それはとても有名なハディースで始まる。

ハディース ― 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 260 番

حَدَّثَنَا قُتَيْبَةُ بْنُ سَعِيدٍ، وَبِشْرُ بْنُ مُعَاذٍ، قَالا: حَدَّثَنَا أَبُو عَوَانَةَ، عَنْ زِيَادِ بْنِ عِلاقَةَ، عَنِ الْمُغِيرَةِ بْنِ شُعْبَةَ، قَالَ: صَلَّى رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم، حَتَّى انْتَفَخَتْ قَدَمَاهُ، فَقِيلَ لَهُ: أَتَتَكَلَّفُ هَذَا، وَقَدْ غَفَرَ اللَّهُ لَكَ مَا تَقَدَّمَ مِنْ ذَنْبِكَ وَمَا تَأَخَّرَ؟ قَالَ: أَفَلا أَكُونُ عَبْدًا شَكُورًا.

日本語訳：

ムギーラ・イブン・シュウバ رضي الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は両足がはれるまで礼拝された。彼はこう言われた。「アッラーはあなたの過去と未来の罪を赦されたのに、なぜこれほど自分に負担をかけられるのですか。」彼は言われた。「**私は感謝するしもべであってはならないのか。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：クタイバ・イブン・サイード と ビシュル・イブン・ムアーズ ← アブー・アワーナ ← ズィヤード・イブン・イラーカ ← ムギーラ・イブン・シュウバ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 260 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 1130 番にもある。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） ― ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:260

このハディースからの教訓

教友たちは、崇拝とは**赦しを得るための道**であり、すでに赦された人はそれほど苦労する必要はないと考えた。しかし彼はより高い意味を教えられた。崇拝は**感謝の**

表現でもある。アッラーが与えてくださる恵みが多いほど、感謝する務めも大きくなる。

アブー・フライラ رضى الله عنه も同じ出来事を伝えている（『シャマーイル』261）— 伝承経路はハサン。そして（『シャマーイル』262）— サヒーフ。ブハーリーの伝承では、尋ねたのはアーイシャ自身であり、彼は「私は感謝するしもべであることを好まないでいられようか」と答えられた（『サヒーフ・ブハーリー』4837）。

このハディースは、なぜ私たちが崇拝するのかに答えている。地獄を恐れ、天国を望むからだけではなく、すべてを与えてくださったアッラーへの**愛と感謝**のゆえでもある。感謝から生まれる崇拝は、足がはれるほどであっても軽く感じられるのである。

夜の礼拝

夜の礼拝（キヤーム・ッ＝ライル）は、アッラーがご自身の使徒に特に命じられた崇拝である。「**また夜の或る時間を起きて礼拝を務めれば，あなたのために余分の賜物があろう**」（夜の旅章 17:79）— タフスィール・イブン・カスィール 17:79。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 263 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ جَعْفَرٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، عَنِ الأَسْوَدِ بْنِ يَزِيدَ، قَالَ: سَأَلْتُ عَائِشَةَ، عَنْ صَلاَةِ رَسُولِ اللهِ صلى الله عليه وسلم بِاللَّيْلِ؟ فَقَالَتْ: كَانَ يَنَامُ أَوَّلَ اللَّيْلِ ثُمَّ يَقُومُ، فَإِذَا كَانَ مِنَ السَّحَرِ أَوْتَرَ، ثُمَّ أَتَى فِرَاشَهُ، فَإِذَا كَانَ لَهُ حَاجَةٌ أَلَمَّ بِأَهْلِهِ، فَإِذَا سَمِعَ الأَذَانَ وَثَبَ، فَإِنْ كَانَ جُنُبًا أَفَاضَ عَلَيْهِ مِنَ الْمَاءِ، وَإِلا تَوَضَّأَ وَخَرَجَ إِلَى الصَّلاَةِ.

日本語訳：

アスワド・イブン・ヤズィードは言った。私はアーイシャ رضى الله عنها に、アッラーの使徒 ﷺ の夜の礼拝について尋ねた。彼女は言った。「**彼は夜の初めに眠り、それから起きて（礼拝され）、夜明け前の時刻になるとウィトルを礼拝された。**それから寝床に戻られ、（妻に）用があれば妻のもとへ行かれた。礼拝の呼びかけを聞くと、すぐに起き上がられた。大汚れの状態であれば水を浴び、そうでなければウドゥーをして礼拝に出て行かれた。」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：ムハンマド・イブン・バッシャール ← ムハンマド・イブン・ジャアファル ← シュウバ・イブン・ハッジャージュ ← アブー・イスハーク・サビーイー ← アスワド・イブン・ヤズィード ← 信仰者たちの母アーイシャ。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 263 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 1146 番にもある。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。イマーム・ブハーリーも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:263

このハディースからの教訓

このハディースは彼の**夜の日課**を描いている。早く眠り、夜中に起きて礼拝し、夜明け前にウィトルを礼拝し、少し休み、礼拝の呼びかけを聞くとすぐに起き上がる。この日課は、**体の権利、家族の権利、そしてアッラーの権利**のバランスがとれている。

イブン・アッバース رضى الله عنهما は、あるとき母方のおばマイムーナの家に泊まった。彼は、預言者が夜中に起き上がり、**顔から眠気をぬぐい、イムラーン家章の最後の十節**を唱え、吊るされた水袋の水でウドゥーをして礼拝されるのを見た（『シャマーイル』264）— 伝承経路はサヒーフ。『サヒーフ・ブハーリー』183 にもある。それらの節は、天と地の創造についての思索から始まる。**「本当に天と地の創造，また夜と昼の交替の中には，思慮ある者への印がある」**（イムラーン家章 3:190）— タフスィール・イブン・カスィール 3:190。

彼はまた、**夜の礼拝を軽い二ラクアで始める**よう教えられた（『シャマーイル』267）— サヒーフ。『サヒーフ・ムスリム』768 にもある。彼の夜の礼拝を見守ったザイド・イブン・ハーリド・ジュハニーは、軽い二ラクア、それからとても長い二ラクア、それから次第に短くなるラクアを経て、**十三ラクア**になったと述べている（『シャマーイル』268）— 伝承経路はサヒーフ。『サヒーフ・ムスリム』765 にもある。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

美しく長い十一ラクア

彼の夜の礼拝は何ラクアだったのだろうか。家での彼の様子を最もよく知るアーイシャ رضى الله عنها は、こう答えた。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 269 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ بْنُ مُوسَى، قَالَ: حَدَّثَنَا مَعْنٌ، قَالَ: حَدَّثَنَا مَالِكٌ، عَنْ سَعِيدِ بْنِ أَبِي سَعِيدٍ الْمَقْبُرِيِّ، عَنْ أَبِي سَلَمَةَ بْنِ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، أَنَّهُ أَخْبَرَهُ أَنَّهُ سَأَلَ عَائِشَةَ، كَيْفَ كَانَتْ صَلاَةُ رَسُولِ اللهِ صلى الله عليه وسلم فِي رَمَضَانَ؟ فَقَالَتْ: مَا كَانَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم لِيَزِيدَ فِي رَمَضَانَ وَلَا فِي غَيْرِهِ عَلَى إِحْدَى عَشْرَةَ رَكْعَةً، يُصَلِّي أَرْبَعًا، لا تَسْأَلْ عَنْ حُسْنِهِنَّ، وَطُولِهِنَّ، ثُمَّ يُصَلِّي أَرْبَعًا لا تَسْأَلْ عَنْ حُسْنِهِنَّ وَطُولِهِنَّ، ثُمَّ يُصَلِّي ثَلاثًا، قَالَتْ عَائِشَةُ: قُلْتُ: يَا رَسُولَ اللهِ، أَتَنَامُ قَبْلَ أَنْ تُوتِرَ؟ فَقَالَ: يَا عَائِشَةُ، إِنَّ عَيْنَيَّ تَنَامَانِ، وَلا يَنَامُ قَلْبِي.

日本語訳：

アブー・サラマ・イブン・アブドゥッラフマーンはアーイシャ رضى الله عنها に尋ねた。「ラマダーンのアッラーの使徒 ﷺ の礼拝はどのようでしたか。」彼女は言った。「**アッラーの使徒 ﷺ は、ラマダーンでもそれ以外でも、十一ラクア以上を礼拝されることはなかった。四ラクアを礼拝され——その美しさと長さは尋ねないでほしい——それからまた四ラクアを礼拝され——その美しさと長さは尋ねないでほしい——それから三ラクアを礼拝された。**」アーイシャは言った。私は尋ねた。「アッラーの使徒よ、ウィトルの前にお休みになるのですか。」彼は言われた。「**アーイシャよ、私の両目は眠るが、私の心は眠らないのだ。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：イスハーク・イブン・ムーサー・アンサーリー ← マアン・イブン・イーサー ← マーリク・イブン・アナス ← サイード・イブン・アビー・サイード・マクブリー ← アブー・サラマ・イブン・アブドゥッラフマーン ← 信仰者たちの母アーイシャ。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 269 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 1147 番にもある。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:269

このハディースからの教訓

アーイシャが強調したのは**数**ではなく**質**である。「その美しさと長さは尋ねないでほしい。」彼の十一ラクアは急いだ礼拝ではなかった。どのラクアも長い朗唱、長いルクーウとサジダ、そして深い謙虚さに満ちていた。

ほかの伝承は異なる数を挙げている。一ラクアのウィトルを含む**十一ラクア**で、その後右側を下にして横になられた（『シャマーイル』270） — サヒーフ。『サヒーフ・ムスリム』736 にもある。**九ラクア**（『シャマーイル』272） — サヒーフ。そして**十三ラクア**（『シャマーイル』265） — 伝承経路はサヒーフ。『サヒーフ・ブハーリー』1138 にもある。学者たちは、数は状況によって異なり、十三には始めの軽い二ラクアかファジュルのスンナが含まれると説明している。

眠り込んだり病気だったりして夜の礼拝を逃されたときには、**昼間に十二ラクアを礼拝して補われた**（『シャマーイル』266） — サヒーフ。これは、彼が続けている行いをどれほど大切にされたかを示している。彼はまた、アッラーに最も愛される行いは、**少なくても続けられるもの**であると言われた。

長い起立と一晩じゅう一つの節

フザイファ・イブン・ヤマーン رضي الله عنه は、あるとき彼とともに夜の礼拝をした。彼はアッラーの偉大さをたたえるタクビールで始め、**雌牛章**を唱えられた。そのルクーウは起立とほぼ同じ長さで、サジダはルクーウとほぼ同じ長さであった（『シャマーイル』274）— サヒーフ。『サヒーフ・ムスリム』772 にもある。

ハディース —『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 276 番

حَدَّثَنَا مَحْمُودُ بْنُ غَيْلاَنَ، قَالَ: حَدَّثَنَا سُلَيْمَانُ بْنُ حَرْبٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ أَبِي وَائِلٍ، عَنْ عَبْدِ اللهِ بْنِ مَسْعُودٍ، قَالَ: صَلَّيْتُ لَيْلَةً مَعَ رَسُولِ اللهِ صلى الله عليه وسلم فَلَمْ يَزَلْ قَائِمًا حَتَّى هَمَمْتُ بِأَمْرِ سُوءٍ قِيلَ لَهُ: وَمَا هَمَمْتَ بِهِ؟ قَالَ: هَمَمْتُ أَنْ أَقْعُدَ وَأَدَعَ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم.

日本語訳：

アブドゥッラー・イブン・マスウード رضي الله عنه は言った。ある夜、私はアッラーの使徒 ﷺ とともに礼拝した。**彼が立ち続けておられたので、私はもう少しで悪いことをしそうになった。**「何をしそうになったのですか」と尋ねられると、彼は答えた。**「座り込んで、預言者 ﷺ を置いて行ってしまいそうになったのです。」**

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：マフムード・イブン・ガイラーン ← スライマーン・イブン・ハルブ ← シュウバ・イブン・ハッジャージュ ← アアマシュ ← アブー・ワーイル ← アブドゥッラー・イブン・マスウード رضي الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 276 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 1135 番にもある。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:276

このハディースからの教訓

イブン・マスウードは力強く学識ある教友であったが、それでも彼の長い起立に**ほとんどついていけなかった**。座ろうと思ったことを「悪いこと」と呼んだのは、礼拝中にイマームを置いていくことは無作法だからである。これは彼の並はずれた**霊的な力**を示している。

アーイシャ رضى الله عنها は言った。「**アッラーの使徒 ﷺ は、ある夜、クルアーンの一つの節で（礼拝に）立ち続けられた**」（『シャマーイル』275）— 伝承経路はサヒーフ。アブー・ザッルの伝承によると、その節は預言者イーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ の祈りの最後の節であった（『スナン・ナサーイー』1010）。「**またあなたがかれらを御赦しなされても，本当にあなたこそは，偉力ならびなく英明であられます**」（食卓章 5:118）— タフスィール・イブン・カスィール 5:118。

彼が一晩じゅう一つの節を繰り返されたのは、**その意味を深く思い**、ウンマを愛しておられたからである。これこそ本当のクルアーンの読み方である。ページを読み終えることではなく、一つ一つの節を**味わう**ことである。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

座っての礼拝

年を重ねられると、彼はときに**座って任意の礼拝**をされた。アーイシャ رضى الله عنها は、彼が座って朗唱され、残りがおよそ三十節か四十節になると立ち上がって立ったまま朗唱し、それからルクーウとサジダをされたと語っている（『シャマーイル』278）— 伝承経路はサヒーフ。『サヒーフ・ブハーリー』1118 にもある。

アブドゥッラー・イブン・シャキークは、アーイシャに彼の任意の礼拝について尋ねた。彼女は、彼が**長い夜を立って、また長い夜を座って**礼拝されたと答えた。立って朗唱されたときは立った姿勢からルクーウとサジダをされ、座って朗唱されたときは座った姿勢からルクーウとサジダをされた（『シャマーイル』279）— 伝承経路はサヒーフ。

ハフサ رضى الله عنها は、彼が座って任意の礼拝をされ、**章をゆっくりと区切って（タルティールで）唱えられた**ので、実際にはより長い章よりも長く感じられたと付け加えている（『シャマーイル』280）— サヒーフ。『サヒーフ・ムスリム』733 にもある。アーイシャは言った。「彼は、（任意の）礼拝の多くを座って行われるようになってから亡くなられた」（『シャマーイル』281）— 伝承経路はサヒーフ。

この教えは、お年寄りや体の弱い人々にとって大きな慰めである。**崇拝はその人の能力に合わせられる**。任意の礼拝は座って行ってもよく、大切なのは謙虚な心でそれを続けることである。アッラーは、誰にもその能力以上の負担を課されない。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ラワーティブの任意の礼拝

夜の礼拝のほかに、彼は**ラワーティブの任意の礼拝**、すなわち義務の礼拝に伴う任意の礼拝を欠かされなかった。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 282 番

حَدَّثَنَا أَحْمَدُ بْنُ مَنِيعٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، قَالَ: حَدَّثَنَا أَيُّوبَ، عَنْ نَافِعٍ، عَنِ ابْنِ عُمَرَ، قَالَ: صَلَّيْتُ مَعَ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم، رَكْعَتَيْنِ قَبْلَ الظُّهْرِ، وَرَكْعَتَيْنِ بَعْدَهَا، وَرَكْعَتَيْنِ بَعْدَ الْمَغْرِبِ فِي بَيْتِهِ، وَرَكْعَتَيْنِ بَعْدَ الْعِشَاءِ فِي بَيْتِهِ.

日本語訳：

イブン・ウマル رضى الله عنهما は言った。「**私は預言者 ﷺ とともに、ズフルの前に二ラクア、その後に二ラクア、マグリブの後に彼の家で二ラクア、イシャーの後に彼の家で二ラクアを礼拝した。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アフマド・イブン・マニーウ ← イスマーイール・イブン・イブラーヒーム（イブン・ウライヤ） ← アイユーブ・サフティヤーニー ← ナーフィウ ← イブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 282 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 1172 番にもある。

判定： 伝承経路はサヒーフ（真正） — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:282

このハディースからの教訓

ハフサ رضى الله عنها は、彼が**夜明けが訪れ**、礼拝の呼びかけが行われているときに**軽い二ラクア**を礼拝されたと付け加えている（『シャマーイル』283）— 伝承経路はサヒーフ。アーイシャ رضى الله عنها も、ズフルの前に二ラクアと後に二ラクア、マグリブの後に二ラクア、イシャーの後に二ラクア、ファジュルの前に二ラクアを挙げている

（『シャマーイル』285）— 伝承経路はサヒーフ。合わせて**一日十から十二ラクア**である。

「**彼の家で**」という言葉にも注目してほしい。彼は家を崇拝で満たし、子どもたちが手本を見られるように、任意の礼拝の一部を家で行われた。彼は言われた。「あなたがたの礼拝の一部を家で行いなさい。家を墓場にしてはならない」（『サヒーフ・ブハーリー』432）。

アースィム・イブン・ダムラは、昼間の彼の任意の礼拝についてアリー رضى الله عنه に尋ねた。アリーは「あなたがたにはとてもできないだろう」と言い、それから説明した。太陽が東の空でアスルの時刻と同じ高さになると二ラクア、ズフルの時刻と同じ高さになると四ラクア、ズフルの前に四ラクアと後に二ラクア、そしてアスルの前に四ラクアを礼拝された、と（『シャマーイル』286）— 伝承経路はハサン。『ジャーミウ・ティルミズィー』599にもある。

注：イブン・ウマルが覚えていた八ラクア（『シャマーイル』284）

イブン・ウマルは彼の任意の礼拝を八ラクア覚えており、自分では見ていないファジュル前の二ラクアについてはハフサが教えてくれたという伝承は、ズバイル・アリー・ザイーによれば**伝承経路が弱い**。その意味は、上のサヒーフな第 282〜283 番の伝承で支えられている。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 284 番 — 伝承経路はダイーフ（ズバイル・アリー・ザイー）。 https://sunnah.com/shamail:284

教訓と結び

『シャマーイル』の第 32〜40 章は、アッラーの使徒 ﷺ の**日々の人柄と崇拝**を私たちに紹介してくれる。最も大切な教訓は次のとおりである。

章	主な教訓
32. 香り	香料を断らない、断ってはならない三つの贈り物
33. 話し方	はっきり、ゆっくり、大切なことは三度
34. 笑い	笑いはほほえみ、アッラーの慈悲を喜ぶ
35. 冗談	偽りのない冗談、弱い立場の人を大切に
36. 詩	真実の詩はほめられる、真理のための芸術
37〜38. 夜の語らい	妻の話を聞く、愛を言葉にする
39. 眠り	右側を下に、祈りと三つの「クル」
40. 崇拝	感謝からの夜の礼拝、家でのラワーティブ

私たちへのメッセージ

昼の彼の優しい人柄は、夜の**アッラーとの深い結びつき**から生まれていた。ほほえみを忘れず、忍耐強く、寛大な人になりたいなら、崇拝を整えることから始めよう。眠る前の二ラクアからでもよい。アッラーが、ご自身の預言者の人柄で私たちを飾ってくださいますように。

イン・シャー・アッラー、本シリーズは**『預言者 ﷺ のシャマーイル』第五巻**へと続く。その朝（ドゥハー）の礼拝、家での任意の礼拝、断食、クルアーンの朗唱、涙、寝床、謙虚さ、そして人柄など、『シャマーイル』の続く章である。アッラーこそが最もよくご存じである。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

付録：毎日のスンナ・チェックリスト

本書で取り上げたアッラーの使徒 ﷺ の毎日のスンナを、出典とともにまとめた。寝室や家族の部屋に貼って、心がけとすることができる。

スンナ	出典
香料の贈り物を受け取り、香りをまとう	『サヒーフ・ブハーリー』2582
はっきり話し、大切なことは繰り返す	『サヒーフ・ブハーリー』95
ほほえみで人を迎える	『ジャーミウ・ティルミズィー』1956
偽りのない冗談を言う	『シャマーイル』236
乗り物に乗るときの祈りを唱える	『ジャーミウ・ティルミズィー』3446
配偶者の話を聞き、語り合う	『サヒーフ・ブハーリー』5189
横になる前に寝床を払う	『サヒーフ・ブハーリー』6320
純正章・黎明章・人間章を唱えて体をなでる	『サヒーフ・ブハーリー』5017
祈りを唱えて右側を下にして眠る	『シャマーイル』253
目覚めたときの祈り	『サヒーフ・ブハーリー』6312
夜の礼拝を軽い二ラクアで始める	『サヒーフ・ムスリム』768
ラワーティブを守り、その一部を家で行う	『サヒーフ・ブハーリー』1172

まず眠る前のスンナ、つまり三つの「クル」と眠りの祈りから始めよう。毎晩行うもので、簡単だからである。それが習慣になったら、眠る前か夜明け前に二ラクアの夜の礼拝を加えよう。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンとタフスィール

『聖クルアーン』ウスマーン版本文、三田了一訳『日亜対訳 聖クルアーン』。https://quran.com

イブン・カスィール『タフスィール・クルアーン・アズィーム』（イムラーン家章 3:190、食卓章 5:118、夜の旅章 17:79、ヤー・スィーン章 36:69、金の装飾章 43:13、筆章 68:4、消息章 78:9）。https://tafsir.app/ibn-katheer/68/4

『シャマーイル』とその注釈

ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 32〜40 章（ハディース第 215〜286 番）、ズバイル・アリー・ザイーの判定付き。https://sunnah.com/shamail

ムッラー・アリー・カーリー『ジャムウ・ル＝ワサーイル・フィー・シャルフ・ッ＝シャマーイル』、イブラーヒーム・バージューリー『マワーヒブ・ラドゥニーヤ・アラー・ッ＝シャマーイル・ル＝ムハンマディーヤ』。

カーディー・イヤード『ブグヤト・ッ＝ラーイド――ウンム・ザルウのハディースの益について』。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』95、183、432、568、1118、1130、1135、1138、1146、1147、1172、2311、2582、2802、2864、3035、3568、3841、4837、5017、5189、6129、6312、6320、6571。https://sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』190、683、733、736、765、768、772、2715。https://sunnah.com/muslim

『ジャーミウ・ティルミズィー』599、1956、1990、2315、2790、2846、2847、2850、3399、3446、3639、3642、『スナン・アビー・ダーウード』4162、『スナン・ナサーイー』1010、3939、『スナン・イブン・マージャ』4193。https://sunnah.com

一般史

Wikipedia, “Al-Tirmidhi”. https://en.wikipedia.org/wiki/Al-Tirmidhi

Wikipedia, “Shama’il Muhammadiyah”. https://en.wikipedia.org/wiki/Shama%27il_Muhammadiyah

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

Wikipedia, “Hassan ibn Thabit”. https://en.wikipedia.org/wiki/Hassan_ibn_Thabit

Wikipedia, “Labid”. https://en.wikipedia.org/wiki/Labid

Wikipedia, “Tahajjud”. https://en.wikipedia.org/wiki/Tahajjud

支援と寄付

この電子書籍は、ムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売されるものではありません。**研究、ウェブサイト quranscience.my の運営、今後の電子書籍の出版の費用のためのご寄付を心より歓迎いたします。ただし寄付は**義務ではありません。**アッラーがすべてのご寄付を、絶えることのない施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば，ちょうど 1 粒が 7 穂を付け，1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に，倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。「本当にわたしの主は，そのしもべの中から御心に適う者に，御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒ﷺは言われた。「施しは財産を減らさない。アッラーは、赦す僕に尊厳しか増し加えられない。そして、アッラーのためにへりくだる者は誰であれ、アッラーがその位を高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ, クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه .

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・礼儀の書（キターブ・ル＝ビッル・ワ・ッ＝スィラ・ワ・ル＝アダブ）、赦しと謙虚さの奨励の章、ハディース第 2588 番。

判定： サヒーフ ― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒ﷺは言われた。「人が死ぬと、その行いは途絶える。ただし三つを除いて。絶えることのない施し、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ, クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه .

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書（キターブ・ル＝ワスィーヤ）、死後に人に届く報いの章、ハディース第 1631 番。

判定： サヒーフ ― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:1631

Jazakumullahu Khairan Kathira



上の QR コード（DuitNow、マレーシア）を読み取ってご寄付ください。



海外からのご寄付：DONATE ボタンをクリックするか、次をご覧ください
paypal.me/quranscience